

◆ 今週のコメント

- ・ アメーバ赤痢の報告が2例あり、これは本年初めての報告です。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は0.71で、過去5年平均値(0.64)を上回っており、増加傾向を示しています。
- ・ 百日咳の報告が1例(1歳)あり、これは本年初めての報告です。昨年(平成20年)の年間報告数は、55例と非常に多く、特に20歳以上からの報告が、全体の31%を占めています。

◆ 今週のトピックス:<インフルエンザ>

- ・ 本市第3週のインフルエンザ定点当たり報告数は14.16で、注意報発令基準値(10.0)を超えました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 五類:アメーバ赤痢 2例【1月以降の累積報告数 2例】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	14.16	963
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.49	225
	② 水痘	0.78	32
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.71	29
	④ 突発性発しん	0.22	9
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.07	3
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP、糞便をFC、髄液をSF、尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
コクサッキーウイルス A2型(2)	かぜ症候群(第27週) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(第23週)	NP NP	黄色ブドウ球菌(3)	かぜ症候群(第48週) かぜ症候群(第47週) 感染性胃腸炎(第47週)	NP NP NP
コクサッキーウイルス A4型(1)	かぜ症候群(第25週)	NP	A群溶血性 レンサ球菌(4)	かぜ症候群(第49週) かぜ症候群(第48週) かぜ症候群(第47週) かぜ症候群(第24週)	NP NP NP NP
コクサッキーウイルス A16型(1)	ヘルパンギーナ(第27週)	NP	肺炎球菌(5)	かぜ症候群(第48週)×2 かぜ症候群(第47週)×3	NP NP
RSウイルス(1)	かぜ症候群(第47週)	NP	インフルエンザ菌 b型(1)	細菌性髄膜炎(第49週)	SF
ノロウイルスGII(2)	感染性胃腸炎(第48週) 感染性胃腸炎(第47週)	FC FC	インフルエンザ菌 b型以外(7)	かぜ症候群(第48週)×3 下気道炎(第48週) 感染性胃腸炎(第47週) かぜ症候群(第47週) かぜ症候群(第24週)	NP NP NP NP
アデノウイルス1型(1)	かぜ症候群(第49週)	NP			
アデノウイルス2型(1)	かぜ症候群(第47週)	NP			
アデノウイルス3型(1)	かぜ症候群(第24週)	NP	マイコプラズマ・ ニューモニエ(3)	かぜ症候群(第46週)×2 下気道炎(第45週)	NP NP

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<インフルエンザ>

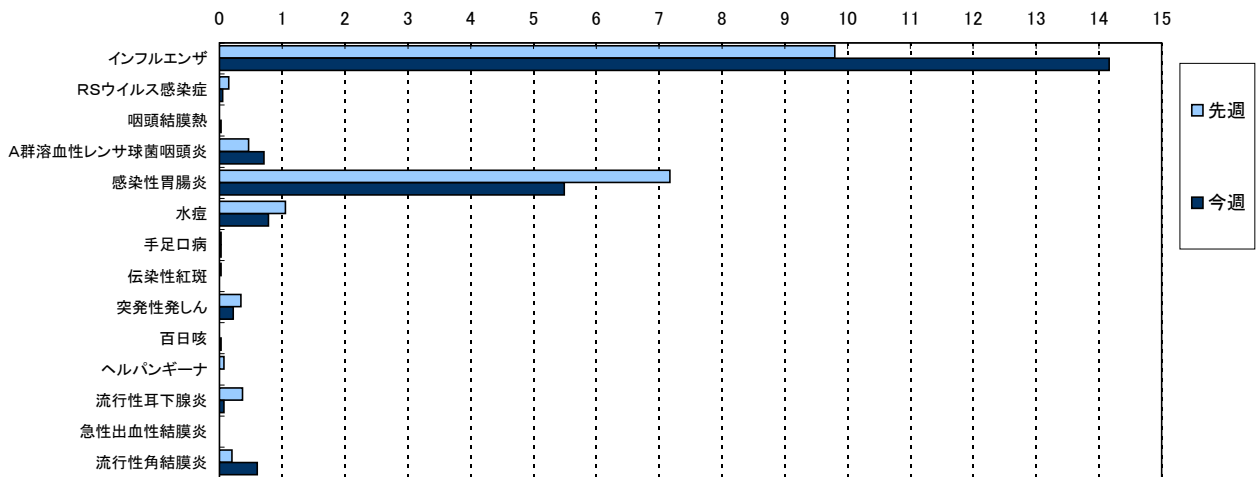
(注)京都市のデータは、平成21年1月23日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。

病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

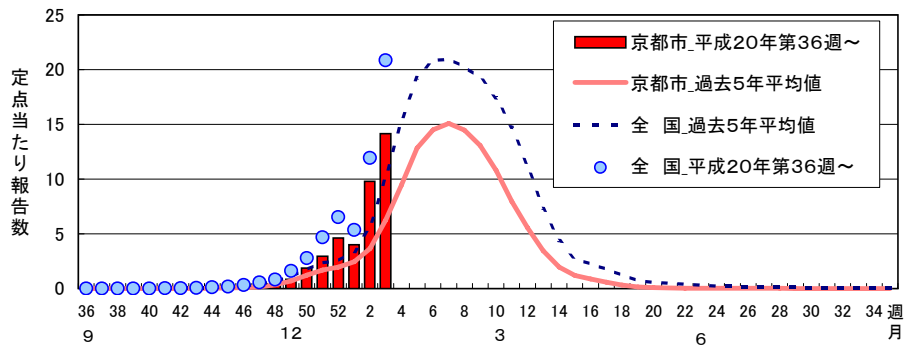
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第3週)と先週(第2週)の定点当たり報告数の比較



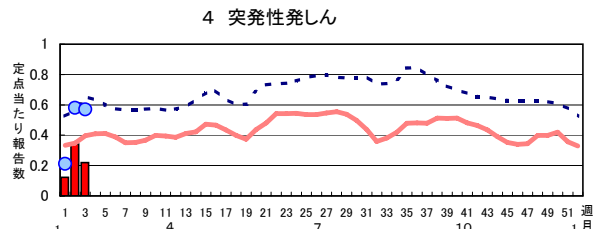
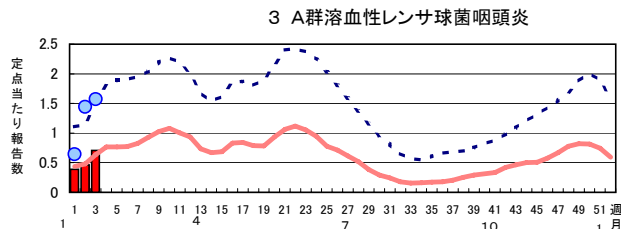
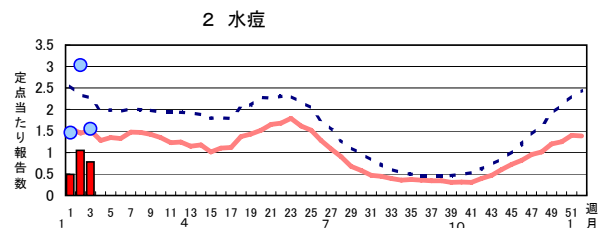
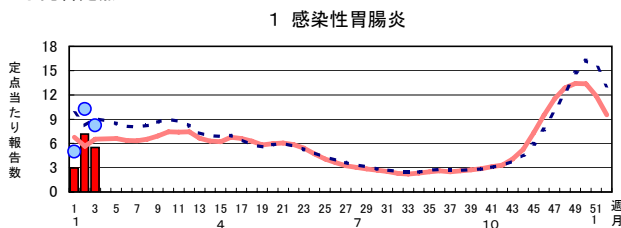
2 インフルエンザの推移

週	報告数(例)
平成20年第51週	201
第52週	314
平成21年第1週	273
第2週	666
第3週	963
累積報告数 (第36週以降)	2,671

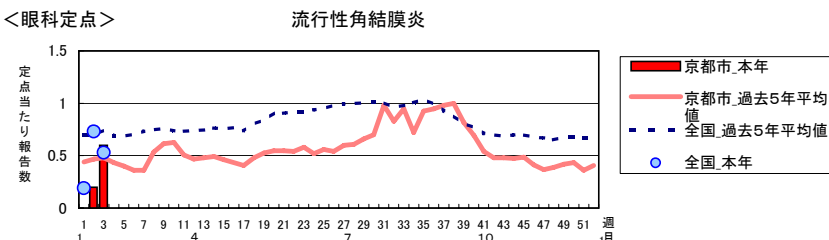


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第3週)のトピックス: <インフルエンザ>

本市第3週のインフルエンザ定点当たり報告数は14.16で、「感染症発生動向調査に基づく流行の警報及び注意報システム情報提供要領」に示された注意報発令基準値(10.0)を超えました。

(参考)

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	継続基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10

(定点当たり報告数)

* 詳細については、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ
(<https://hasseidoko.mhlw.go.jp/Hasseidoko/Levelmap/flu/guide.html>) を御覧ください。

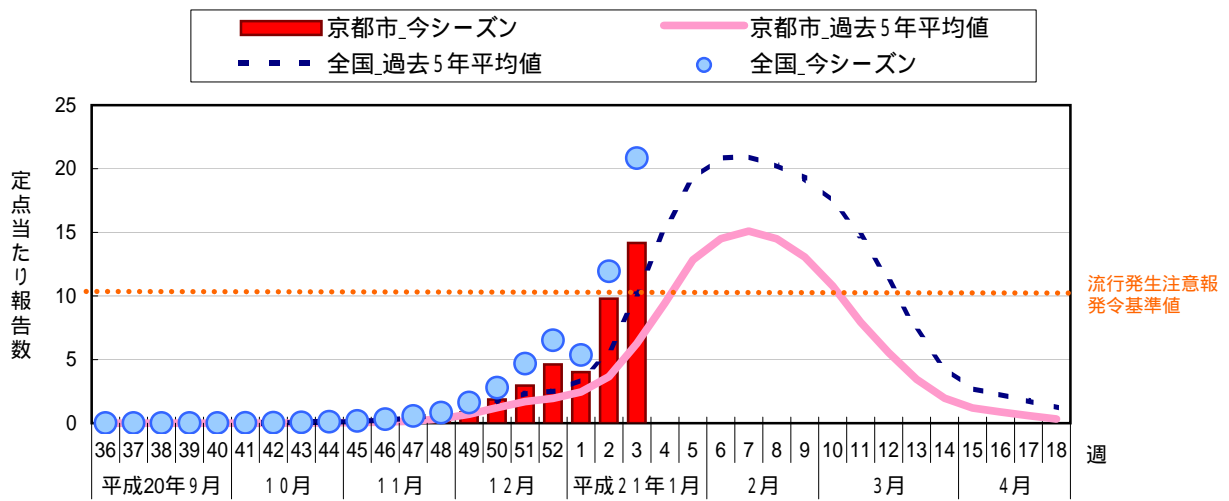
行政区別では、上京、中京、東山、山科、南、右京、伏見、西京の8行政区で、前週(第2週)と比べ、定点当たり報告数の増加がみられます。

年齢階級別割合は、15歳未満が全体の53.8%、15歳以上が46.2%です。

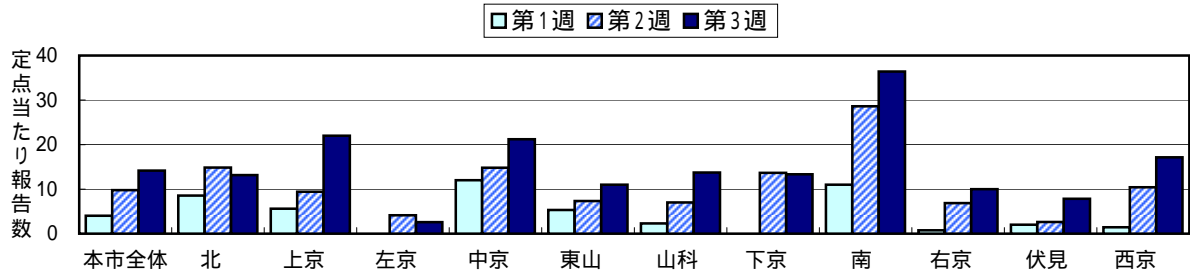
インフルエンザウイルスについては、1月23日現在、京都市では、A(H3)型及びB型が各1件ずつ検出されています。全国ではA(H1)型が447件、A(H3)型が408件、B型が148件検出されています。(平成20年第36週以降の累積)

国立感染症研究所感染症情報センターのホームページに、都道府県別の最新インフルエンザウイルス検出情報が掲載されています。(http://idsc.nih.gov.jp/iasr/prompt/graph-kj.html)

本市及び全国の定点当たり報告数 推移(平成20年第36週~)



本市の行政区別 定点当たり報告数 推移(平成21年第1週~第3週)



対前週増加率(第2週/第3週)

本市全体	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京
44.6%	-11.6%	134.0%	-37.9%	43.2%	50.1%	95.9%	-2.5%	27.3%	45.3%	196.1%	64.4%